

かわち学園の教育 グランドデザイン

【本県教育目標】

- ◆ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- ◆じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- ◆郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【いばらき教育プラン】

『活力があり、県民が日本一幸せな県』

令和5年度

「学校教育指導方針」から

- 「すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり」
- ◆カリキュラム・マネジメントの確立
- ◆豊かな学びの展開
- ◆安心して学べる環境の保障

学校教育目標

夢や希望をもち 自ら考え行動できる児童生徒の育成

目指す児童生徒像

- ともに力をあわせ、たくましく活動する子
～はたらき：共同～
*強いからだ・行動する力・忍耐力
- ともに心をあわせ、助けあって生活する子
～おもいやり：共和～
*やさしい心・親切な心・交流する気持ち
- ともに考えを深め、主体的に学ぶ子
～よくまなぶ：共修～
*挑戦する心・創造力・考え表現する力

目指す教師像

- 子どもの気持ちを理解できる教師
- 明るく積極的な教師
- 実践力と指導力のある教師
- 子どもや保護者から信頼される教師

かわち学園の校訓

はたらき・共同
おもいやり・共和
よくまなぶ・共修

【本町教育目標】

人間性豊かで創造力に富み、たくましく生きる人間の育成と郷土を愛し住みよい町づくりに貢献できる人づくりを目指した教育を進める。

目指す学校像

- 活気のある楽しい学校
- 思いやりがあり温かい学校
- 安全・安心な学校
- 地域に開かれた信頼される学校

中期（令和3～令和5年度）目標・戦略構想

- 確かな学力を身に付け、ともに助け合いながら主体的に取り組む児童生徒を育成する。
- 学校・家庭・地域と連携し、地域とともに歩む学校づくりを目指す。

学校経営の方針

- 教育目標の具現化のため、アクションプランを策定し、組織マネジメントにより業績の改善と向上を目指す。
- 小中一貫教育の特色を生かした系統性のある教育活動、教師の専門性を活かした質の高い授業の展開をめざす。
- こども基本法(2023.4.1)やSDGsの視点に立った教育活動の実践に努める。
- 教職員としての資質・能力、指導力の向上とスクールコンプライアンスへの意識を高めるため、計画的・実践的な研修を推進する。
- 学校・家庭・地域との連携により、学校教育の充実に努める。
- 働き方改革や業務改善による働きやすい職場環境づくり、相談しやすい雰囲気づくり、協働体制づくりに全職員で取り組む。

- 戦略構想期（令和3年度）
◆児童生徒の実態や課題を明確にし、小中一貫教育の特性を生かした具体策を策定し、実践・評価を行う。
- 戦略確立期（令和4年度）
◆前年度の学校運営の課題を明確にし、取組の改善や再構築により確かな施策を確立する。
- 戦略充実期（令和5年度）
◆2年間の取組の成果を検証し、学校運営の一層の充実・発展を目指す。そして、3年間の取組を完結する。

働き方改革・業務改善

- 1 働きがいと働きやすさのベストミックスをめざす組織的取組
- 2 ICT環境による校務の効率化
- 3 外部人材・外部施設の活用
- 4 前・後期協働による業務の平準化
- 5 勤務時間管理の徹底

令和5年度 組織目標

◆児童生徒の主体性とチャレンジ精神を育む「もっと」を引き出す授業づくりと安心して自分らしさの発揮できる学年・学級づくり

アクション・プラン



【共同プラン】

たくましい児童生徒づくり

- 1 主体性を育む「楽しさ」を基本とした体育授業の改善と運動量の確保
 - ◇保健体育科の授業の工夫改善による運動量の確保
 - ◇外遊びの励行、部活動外部指導者の活用
- 2 栄養教諭や養護教諭を中心とし、年間を通じた食育・健康教育の継続と充実
 - ◇栄養教諭による食育の計画的実践
 - ◇食物アレルギーへの対応、エピペン研修
- 3 保健主事を中心とし、外部講師を活用した性教育や薬物乱用防止の講演会等の実施
 - ◇性教育・薬物乱用防止教育等の実施
- 4 教育相談活動の充実
 - ◇調査に基づく定期的教育相談及び随時相談
 - ◇不登校児童生徒支援教員を核とした関係機関との連携

【共和プラン】

思いやりのある児童生徒づくり

- 1 自己有用感、自己肯定感を高めるための学級活動、特別活動の充実
 - ◇一人一人のよさを認め生かす経営の充実
 - ◇いじめがなく心の居場所となる学級づくり
- 2 自治的活動を推進する児童生徒会活動の充実
 - ◇児童生徒会を中心とした諸活動の展開
- 3 前後期課程の連続性・系統性を意識した道徳教育
 - ◇「考え、議論する道徳」の実践と評価
 - ◇「黙働」「自問」清掃の推進と定着
- 4 心の成長を促進するための異学年交流、地域の教育力の活用
 - ◇前・中・後期ブロックでの活動・地域ボランティアとの協働農作業体験
- 5 郷土に親しみ、郷土を愛する心の育成
 - ◇地域学習「かわち学」の活用

【共修プラン】

自ら学ぶ児童生徒づくり

- 1 児童生徒の主体性を引き出す指導の工夫・改善
 - ◇試行錯誤しながら明らかにしたくなる学習課題の設定
 - ◇自分の考えを相手に伝える場の設定
 - ◇振り返りの時間の確保
 - ◇効果的なICT機器の活用
- 2 主体的・対話的で深い学びにつなげるための「問い」の工夫
 - ◇課題改善に基づく学力向上の推進・研究テーマに即した授業改善
- 3 教師の専門性を活かした授業展開
 - ◇教科担任制の積極的な活用
 - ◇前後期課程の系統的な学習指導
- 4 望ましいキャリア発達への支援
 - ◇9年間を見通したキャリアパスポートの作成と活用

【特別支援教育

充実プラン】

- 1 一人一人の教育的ニーズに応じた学びの場の充実(新設：通級指導教室)
 - ◇校内支援委員会の充実
 - ◇特別支援教育巡回相談(年10回)
 - ◇SC、SSW、発達相談等の活用
- 2 前期・後期課程をつなぐ組織的・系統的な支援の推進
 - ◇学年間における確実な引継ぎ
- 3 個と個、個と集団をつなぐためのICTを活用した学習活動の充実
 - ◇タブレット等のICT機器の有効活用
- 4 通常教室の配慮を要する児童生徒への支援の拡充
 - ◇個別の指導計画の作成及び活用
- 5 家庭・地域への特別支援教育の理解・促進

【信頼される

学校づくりプラン】

- 1 家庭や地域支援ネットワークを通じた協力体制の確立
 - ◇コミュニティ・スクールの活性化
- 2 学校HP、学校だより等の発行による情報発信
 - ◇ホームページの積極的更新(年200回)
 - ◇学校便り、学年便り等の定期的発行
- 3 学校評価を活用した保護者、学校関係者との情報交流
 - ◇学校評価の活用・公表・説明責任
- 4 保護者・地域・関係者への誠実な対応
 - ◇コンプライアンスに係る教職員研修の充実
- 5 教員評価の活用
 - ◇教員評価面談を生かした組織の活性化